

特別企画：国内主要 109 行の預金・貸出金等実態調査（2020 年 3 月期）

貸出金は増加も貸出金利息・利ざや減少

～すべての地域で貸出金利息が減少～

はじめに

地銀再編が騒がれるなど先行き不安の話題が多かった金融界であるが、新型コロナウイルスの感染拡大が進むなかで、地域経済を支える地方銀行の価値が再評価されている。地方銀行をはじめとする各金融機関は、緊急事態宣言下で臨時休業を強いられた企業やインバウンドの消失により営業継続が困難な状況に陥った企業に対し、金融庁など行政からの支援を受けながら、積極的な資金融資を行い、倒産回避の一助となっている。

帝国データバンクは、国内主要 109 行（大手銀行 7 行、地方銀行 64 行、第二地方銀行 38 行）の 2019 年 3 月末および 2020 年 3 月末の預金、貸出金の残高および 2019 年 3 月期（2018 年 4 月～2019 年 3 月）、2020 年 3 月期（2019 年 4 月～2020 年 3 月）の預金利息（支出）、貸出金利息（収入）の推移について調査・分析した。

※ 前回（2019 年 12 月発表、2019 年 9 月中間期データ）は 110 行（大手 7 行、地銀 64 行、第二地銀 39 行）を調査対象としていたが、2020 年 1 月に徳島銀行（第二地銀）と大正銀行（第二地銀）が合併して徳島大正銀行（地銀）となっているため、2019 年 3 月期は 2 行合算の数値を 1 行分として計上している

※ 大手銀行 7 行＝三菱 UFJ、みずほ、三井住友、りそな、埼玉りそな、新生、あおぞら

※ 各数値は各行の決算短信（単体ベース）に記載されている数値（単位：百万円）を採用

調査結果

- 2020 年 3 月末の国内主要 109 行の預金は、797 兆 1853 億 6700 万円となり、2019 年 3 月末（771 兆 7710 億 6500 万円）と比べて、25 兆 4143 億 200 万円増加（前年比 3.3%増）した。大手銀行（同 4.3%増）、地方銀行（同 2.0%増）、第二地方銀行（同 1.6%増）の 3 業態すべてで増加
- 2020 年 3 月末の国内主要 109 行の貸出金は、555 兆 115 億 9500 万円となり、2019 年 3 月末（537 兆 1564 億 5900 万円）と比べ、17 兆 8551 億 3600 万円増加（前年比 3.3%増）。大手銀行（同 3.5%増）、地方銀行（同 3.2%増）、第二地方銀行（同 2.5%増）の 3 業態すべてで増加
- 2020 年 3 月期の国内主要 109 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）＝本業利ざや＞は、5 兆 5888 億 5000 万円となり、2019 年 3 月期（5 兆 8467 億 4100 万円）と比べると、2578 億 9100 万円の減少（前年同期比 4.4%減）となった。大手銀行（同 7.3%減）、地方銀行（同 1.0%減）、第二地方銀行（同 2.3%減）の 3 業態すべてで減少
- 地方銀行、第二地方銀行の計 102 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、8 地域で預金・貸出金ともに増加。貸出金利息は、すべての地域で減少

1. 預金動向 ～109 行中 88 行で増加、25 兆 4143 億円増～

2020 年 3 月末の国内主要 109 行の預金は、797 兆 1853 億 6700 万円となり、2019 年 3 月末 (771 兆 7710 億 6500 万円) と比べて、25 兆 4143 億 200 万円増加 (前年比 3.3%増) した。大手銀行 (同 4.3%増)、地方銀行 (同 2.0%増)、第二地方銀行 (同 1.6%増) の 3 業態すべてで増加した (3 ページ参照)。

業態別に増減の内訳をみると、大手銀行 (増加 7 行、減少ゼロ行)、地方銀行 (増加 57 行、減少 7 行)、第二地方銀行 (増加 24 行、減少 14 行) となり、109 行中 88 行 (構成比 80.7%) で増加した。

預金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100.0%
地方銀行	57	89.1%	7	10.9%	64	100.0%
第二地方銀行	24	63.2%	14	36.8%	38	100.0%
合計	88	80.7%	21	19.3%	109	100.0%

また、109 行が 2020 年 3 月期 (1 年間に預金者へ支払った預金利息は、1 兆 4010 億 4200 万円となり、2019 年 3 月期 (1 兆 4073 億 3800 万円) と比べ、62 億 9600 万円減少 (前年同期比 0.4%減)。大手銀行 (同 0.8%増) で増加した一方、地方銀行 (同 13.0%減)、第二地方銀行 (同 13.4%減) で減少した。

預金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	3	42.9%	4	57.1%	7	100.0%
地方銀行	13	20.3%	51	79.7%	64	100.0%
第二地方銀行	3	7.9%	35	92.1%	38	100.0%
合計	19	17.4%	90	82.6%	109	100.0%

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加 3 行、減少 4 行)、地方銀行 (増加 13 行、減少 51 行)、第二地方銀行 (増加 3 行、減少 35 行) となり、109 行中 90 行 (構成比 82.6%) で減少した。

2. 貸出金動向 ～109 行中 93 行で増加、17 兆 8551 億円増～

2020 年 3 月末の国内主要 109 行の貸出金は、555 兆 115 億 9500 万円となり、2019 年 3 月末 (537 兆 1564 億 5900 万円) と比べ、17 兆 8551 億 3600 万円増加 (前年比 3.3%増)。大手銀行 (同 3.5%増)、地方銀行 (同 3.2%増)、第二地方銀行 (同 2.5%増) の 3 業態すべてで増加した (3 ページ参照)。

業態別の増減の内訳は、大手銀行 (増加 7 行、減少ゼロ行)、地方銀行 (増加 59 行、減少 5 行)、第二地方銀行 (増加 27 行、減少 11 行) となり、109 行中 93 行 (構成比 85.3%) で増加した。

貸出金増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	7	100.0%	0	0.0%	7	100.0%
地方銀行	59	92.2%	5	7.8%	64	100.0%
第二地方銀行	27	71.1%	11	28.9%	38	100.0%
合計	93	85.3%	16	14.7%	109	100.0%

また、109 行が 2020 年 3 月期 (1 年間に融資先から受け取った貸出金利息は、6 兆 9898 億 9200 万円となり、2019

年 3 月期（7 兆 2540 億 7900 万円）と比べ、2641 億 8700 万円減少（前年同期比 3.6%減）。大手銀行（同 4.9%減）、地方銀行（同 1.5%減）、第二地方銀行（同 2.8%減）のすべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 1 行、減少 6 行）、地方銀行（増加 16 行、減少 48 行）、第二地方銀行（増加 9 行、減少 29 行）となり、109 行中 83 行（構成比 76.1%）で減少となった。

貸出金利息増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	1	14.3%	6	85.7%	7	100.0%
地方銀行	16	25.0%	48	75.0%	64	100.0%
第二地方銀行	9	23.7%	29	76.3%	38	100.0%
合計	26	23.9%	83	76.1%	109	100.0%

		2019年3月末	2020年3月末	2019年3月末比 増減額・増減比(%)		
主要109行	預金	771,771,065	797,185,367	25,414,302	3.3	
	預金利息	1,407,338	1,401,042	▲ 6,296	▲ 0.4	
	貸出金	537,156,459	555,011,595	17,855,136	3.3	
	貸出金利息	7,254,079	6,989,892	▲ 264,187	▲ 3.6	
	貸出金利息－預金利息	5,846,741	5,588,850	▲ 257,891	▲ 4.4	
	大手銀行 (7行)	預金	437,576,417	456,447,694	18,871,277	4.3
		預金利息	1,277,179	1,287,885	10,706	0.8
		貸出金	275,145,971	284,872,970	9,726,999	3.5
		貸出金利息	4,348,502	4,135,505	▲ 212,997	▲ 4.9
		貸出金利息－預金利息	3,071,323	2,847,620	▲ 223,703	▲ 7.3
	地方銀行 (64行)	預金	272,774,763	278,316,739	5,541,976	2.0
		預金利息	107,079	93,181	▲ 13,898	▲ 13.0
		貸出金	213,863,813	220,803,526	6,939,713	3.2
		貸出金利息	2,320,704	2,285,624	▲ 35,080	▲ 1.5
		貸出金利息－預金利息	2,213,625	2,192,443	▲ 21,182	▲ 1.0
	第二地方 銀行 (38行)	預金	61,419,885	62,420,934	1,001,049	1.6
預金利息		23,080	19,976	▲ 3,104	▲ 13.4	
貸出金		48,146,675	49,335,099	1,188,424	2.5	
貸出金利息		584,873	568,763	▲ 16,110	▲ 2.8	
貸出金利息－預金利息		561,793	548,787	▲ 13,006	▲ 2.3	

※2019年3月末は徳島大正銀行発足により、徳島銀行と大正銀行の合計値で集計

※2019年3月末は関西みらい銀行発足により、近畿大阪銀行と関西アーバン銀行の合計値で集計

単位：百万円

3. 利ざや動向 ～109 行中 76 行で減少～

2020 年 3 月期の国内主要 109 行の収支＜貸出金利息（収入）－預金利息（支出）＝**本業利ざや**＞は、5 兆 5888 億 5000 万円となり、2019 年 3 月期（5 兆 8467 億 4100 万円）と比べると、2578 億 9100 万円の減少（前年同期比 4.4%減）となった。大手銀行（同 7.3%減）、地方銀行（同 1.0%減）、第二地方銀行（同 2.3%減）の 3 業態すべてで減少した。

業態別の増減の内訳は、大手銀行（増加 1 行、減少 6 行）、地方銀行（増加 18 行、減少 46 行）、第二地方銀行（増加 14 行、減少 24 行）となり、109 行中 76 行（構成比 69.7%）で減少した。

利ざや増減内訳

	増加		減少		合計	
	行数	構成比	行数	構成比	行数	構成比
大手銀行	1	14.3%	6	85.7%	7	100.0%
地方銀行	18	28.1%	46	71.9%	64	100.0%
第二地方銀行	14	36.8%	24	63.2%	38	100.0%
合計	33	30.3%	76	69.7%	109	100.0%

4. 地域別動向 ～預金・貸出金の増加率トップは「九州」～

地方銀行、第二地方銀行の計 102 行について、本店所在地（都道府県別）の地域別（9 地域）にみると、8 地域で預金・貸出金ともに増加した一方、「近畿」では預金が落ち込んだ。

預金の増加率上位は「九州」（3.1%増）、「北海道」（2.9%増）、「関東」（2.5%増）。貸出金の増加率上位は「九州」（4.8%増）、「中国」（4.6%増）、「東北」・「四国」（各 2.9%増）。

また、預金利息は、「四国」（1.9%増）など 2 地域で増加した一方、「東北」（27.3%減）、「中国」（26.8%減）など 7 地域で減少した。貸出金利息は、「中部」（4.0%減）、「四国」（3.1%減）、「北海道」（2.6%減）など、すべての地域で減少した。

		2019年3月末	2020年3月末	2019年3月末比 増減額・増減比(%)	
北海道 (2行)	預金	13,394,128	13,787,787	393,659	2.9
	預金利息	776	667	▲ 109	▲ 14.0
	貸出金	10,197,823	10,481,692	283,869	2.8
	貸出金利息	102,160	99,488	▲ 2,672	▲ 2.6
	貸出金利息－預金利息	101,384	98,821	▲ 2,563	▲ 2.5
東北 (15行)	預金	32,923,592	33,288,481	364,889	1.1
	預金利息	6,818	4,959	▲ 1,859	▲ 27.3
	貸出金	22,786,638	23,448,192	661,554	2.9
	貸出金利息	235,052	230,292	▲ 4,760	▲ 2.0
	貸出金利息－預金利息	228,234	225,333	▲ 2,901	▲ 1.3
関東 (15行)	預金	74,376,959	76,262,983	1,886,024	2.5
	預金利息	33,948	28,008	▲ 5,940	▲ 17.5
	貸出金	59,649,838	61,123,808	1,473,970	2.5
	貸出金利息	658,995	652,469	▲ 6,526	▲ 1.0
	貸出金利息－預金利息	625,047	624,461	▲ 586	▲ 0.1
北陸 (9行)	預金	22,929,184	23,472,076	542,892	2.4
	預金利息	4,254	3,516	▲ 738	▲ 17.3
	貸出金	16,599,099	16,890,454	291,355	1.8
	貸出金利息	162,692	159,736	▲ 2,956	▲ 1.8
	貸出金利息－預金利息	158,438	156,220	▲ 2,218	▲ 1.4
中部 (16行)	預金	57,567,610	58,527,339	959,729	1.7
	預金利息	27,320	25,280	▲ 2,040	▲ 7.5
	貸出金	44,872,293	46,075,058	1,202,765	2.7
	貸出金利息	530,165	509,110	▲ 21,055	▲ 4.0
	貸出金利息－預金利息	502,845	483,830	▲ 19,015	▲ 3.8
近畿 (7行)	預金	32,647,512	32,600,823	▲ 46,689	▲ 0.1
	預金利息	13,414	12,404	▲ 1,010	▲ 7.5
	貸出金	25,757,254	26,371,413	614,159	2.4
	貸出金利息	265,326	260,620	▲ 4,706	▲ 1.8
	貸出金利息－預金利息	251,912	248,216	▲ 3,696	▲ 1.5
中国 (9行)	預金	29,518,121	30,095,194	577,073	2.0
	預金利息	20,704	15,146	▲ 5,558	▲ 26.8
	貸出金	23,496,410	24,573,663	1,077,253	4.6
	貸出金利息	256,444	254,499	▲ 1,945	▲ 0.8
	貸出金利息－預金利息	235,740	239,353	3,613	1.5
四国 (8行)	預金	20,990,018	21,304,135	314,117	1.5
	預金利息	10,994	11,198	204	1.9
	貸出金	16,223,589	16,694,827	471,238	2.9
	貸出金利息	202,671	196,379	▲ 6,292	▲ 3.1
	貸出金利息－預金利息	191,677	185,181	▲ 6,496	▲ 3.4
九州 (21行)	預金	49,847,524	51,398,855	1,551,331	3.1
	預金利息	11,931	11,979	48	0.4
	貸出金	42,427,544	44,479,518	2,051,974	4.8
	貸出金利息	492,072	491,794	▲ 278	▲ 0.1
	貸出金利息－預金利息	480,141	479,815	▲ 326	▲ 0.1
102行 合計	預金	334,194,648	340,737,673	6,543,025	2.0
	預金利息	130,159	113,157	▲ 17,002	▲ 13.1
	貸出金	262,010,488	270,138,625	8,128,137	3.1
	貸出金利息	2,905,577	2,854,387	▲ 51,190	▲ 1.8
	貸出金利息－預金利息	2,775,418	2,741,230	▲ 34,188	▲ 1.2

※2019年3月末は徳島大正銀行発足により、徳島銀行と大正銀行の合計値で集計
 ※2019年3月末は関西みらい銀行発足により、近畿大阪銀行と関西アーバン銀行の合計値で集計

単位：百万円

5. まとめ

2020 年 3 月末の国内主要 109 行において、預金は前年比 3.3%増の 797 兆 1853 億 6700 万円となり、貸出金は前年比 3.3%増の 555 兆 115 億 9500 万円となった。一方、預金利息は前年同期比 0.4%減の 1 兆 4010 億 4200 万円、貸出金利息は前年同期比 3.6%減の 6 兆 9898 億 9200 万円となっており、本業利ざや<貸出金利息（収入）－預金利息（支出）>は前年同期比 4.4%減の 5 兆 5888 億 5000 万円となった。つまり、預金・貸出金が増加している一方で、預金利息・貸出金利息が減少し、かつ収支のバランスが悪化して本業での儲けが減少しているという事だ。

こうしたなか、ATM利用手数料の見直しがなされたほか、銀行間送金手数料の見直しが検討されるなど、銀行の収益構造は大きく変化している。また今後は、新型コロナウイルスに関する緊急融資の影響として、貸出金の増加や利息率の変動などが銀行決算に反映されることが予想される。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株)帝国データバンク 東京支社 情報部 綴木・佐古

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。

著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。